

平成24年度 事業報告

1 会議の開催

(1) 総会

ア 定時総会

平成24年6月20日（水） 出席367社（委任状によるもの215社）
名古屋観光ホテル「那古の間」

イ 臨時総会

平成25年3月19日（火） 出席394社（委任状によるもの241社）
東京第一ホテル錦「ブリランテの間」

(2) 理事会

平成24年6月20日、9月20日、12月7日、平成25年3月19日

(3) 支部会議

9回

(4) 労災保険収支改善対策推進協議会

2回

(5) 専門委員会等

7回（うち、労務単価研究会1回）

2 警備業務の適正化に関する指導及び調査研究

(1) 委員会、部会及び支部活動の強化

ア 総務、広報、労務、業務及び教育センター運営委員会を開催し、所掌事項の研究と協会事業の円滑な推進に努めた。

イ 青年部会は、若手経営者の相互研さん・交流を通じ、企業活動の発展と業務の適正化を目指した勉強会を3回開催した。

ウ 各支部において、次のとおり研修会を開催した。

(ア) 平成24年4月26日（木）北東支部、4月27日（金）中支部、5月8日（火）ビルメン支部、5月11日（金）三河支部、5月17日（木）西支部、南支部では、愛知県警察本部警備業担当官を講師に招き、警備業における当面の諸問題について、研修会を開催した。

(イ) 平成24年11月16日（金）北東支部では、愛知県防犯協会連合会参与を講師に招き、犯罪抑止について研修会を開催した。

(ウ) 平成25年1月25日（金）南支部では、管内某ガス会社を支部長以下15名が見学し、警備体制、施設警備業務の課題、警備員の資質向上など各社の実態と情報交換を行い、今後の配置基準に向けた勉強会を実施した。

(2) 労務単価問題への取り組み強化

ア 社会保険加入問題及び労務単価問題に対する協議、研究を行うため、平成25年1月4日（金）、協会に「労務単価、社会保険問題特別委員会」及び同研究部会を設置した。

また、平成25年1月29日（火）、当協会会議室において、愛知県産業労働部担当者との公契約のあり方についての意見交換会を開催した。

イ 平成24年11月2日（金）当協会会議室において、平成24年度労務単価研究会を開催した。31社35名が参加し、公共事業労務費調査への的確な対応と適正な警備業料金の確保に向け緊密な連携を図った。

(3) 経営者及び安全衛生管理者研修会の開催

警備業務の適正化及び企業モラルの高揚、労災事故の防止を図るため、部外講師、愛知県警察本部警備業担当及び愛知労働局から講師を招き、経営者及び管理者の研修会を開催した。

ア 経営者研修会の開催

開催日 平成24年10月18日（木）
場 所 東京第一ホテル錦「ブリランテの間」
参加者 151社、178名
内 容 ・「7歳児でもスグ結果が出せる超非常識な成功法則」
～ストレスを10分の1にする楽しいイメージ心理学～
猪村工業株式会社 代表取締役社長 猪村 淡氏
・「警備業を取り巻く諸問題」
警察本部生活安全総務課警備業担当 警部補 鈴木 満久氏

イ 安全衛生管理者研修会の開催

開催日 平成25年2月5日（火）
場 所 東京第一ホテル錦「ブリランテの間」
参加者 149社、170名
内 容 ・「第12次労働災害防止計画について」
愛知労働局労働基準部安全課 産業安全専門官 鈴木 孝典氏
・「食事で変わる良い人生、悪い人生」
株式会社ハンナプロジェクト 代表取締役 伊藤 華づ枝氏
・「警備業の現状と事故防止について」
警察本部生活安全総務課警備業係 課長補佐 真田 年治氏

(4) 労災事故防止活動の充実

ア 「労災保険収支改善対策推進協議会」における事故事例の検討及び「愛警協だより」による会員への事故事例紹介等の労災事故防止活動を実施したほか、交通誘導警備員の事故防止と誘導技術の向上を図るため、関係警察署の支援を受け、業務委員会及び各支部長が中心となり合計13回の安全パトロールを実施し現場指導を行った。また、指導結果については、「愛警協だより」で注意喚起を呼びかけた。

- ・平成24年 5月30日（水）北東支部 千種警察署管内
- ・平成24年 8月28日（火）北東支部 小牧警察署管内
- ・平成24年 9月18日（火）西支部 稲沢警察署管内
- ・平成24年 9月27日（木）西支部 一宮警察署管内
- ・平成24年10月23日（火）中支部 中警察署管内

- ・平成24年10月25日(木) 西支部 津島警察署管内
- ・平成24年10月25日(木) 北東支部 春日井警察署管内
- ・平成24年11月 8日(木) 三河支部 豊川警察署管内
- ・平成24年11月 5日(月) 南支部 昭和警察署管内
- ・平成24年11月13日(火) 南支部 常滑警察署管内
- ・平成24年11月22日(木) 西支部 蟹江警察署管内
- ・平成25年 2月18日(月) 西支部 中川警察署管内
- ・平成25年 2月26日(火) 三河支部 西尾警察署管内

イ 全国警備業協会主唱の労働災害防止「論文・ポスター・標語」の公募等に参加するとともに、愛知労働局及び関係協会と連絡協力を図り、労働安全衛生対策を積極的に推進した。

また、労務委員会の委員長として長年にわたり業界の労働安全衛生に貢献した功勞により高山幸雄氏が、平成24年10月24日、中央労働災害防止協会会長から緑十字賞を受賞した。

3 法令等の規定に基づく研修等の委託事業

(1) 警備員指導教育責任者等の講習

愛知県公安委員会からの受託講習を延22回(受講者計758名)開催した。

ア 警備員指導教育責任者新規取得講習

実施回数 9回 受講者(受験者) 316(313)名 合格者 264名
合格率 84.3%

イ 警備員指導教育責任者追加講習

実施回数 4回 受講者(受験者) 65(65)名 合格者 63名
合格率 96.9%

ウ 警備員指導教育責任者現任講習

実施回数 8回 受講者 328名

エ 機械警備業務管理者講習

実施回数 1回 受講者(受験者) 49(49)名 合格者 46名
合格率 93.9%

(2) 特別講習の充実強化

(一社)警備員特別講習事業センターからの委託事業である特別講習は、計21回開催し、受講者1,676名、合格者1,003名、合格率59.8%であった。

ア 施設警備業務1級特別講習

1回 受講者 71名 合格者 45名 合格率 63.4%

イ 雑踏警備業務1級特別講習

1回 受講者 70名 合格者 33名 合格率 47.1%

ウ 施設警備業務2級特別講習

7回 受講者 622名 合格者 373名 合格率 60.0%

エ 交通誘導警備業務2級特別講習

7回 受講者 562名 合格者 325名 合格率 57.8%

オ 雑踏警備業務2級特別講習

4回 受講者 274名 合格者 172名 合格率 62.8%
カ 貴重品運搬警備業務2級特別講習

1回 受講者 77名 合格者 55名 合格率 71.4%

(3) 講習会場の確保

特別講習を安定的、効率的に実施するため、(社)愛知県トラック協会の協力を得て、同協会が愛知県みよし市に所有する中部トラック総合研修センターを新たな講習会場として確保し、平成25年2月に特別講習を開催した。

4 警備員及び警備員指導教育責任者等警備業務に従事する者に対する教育訓練並びに研修

(1) 集合法定教育の充実強化

ア 法定警備員教育の強化

平成24年4月1日から平成25年3月31日までに実施した法定警備員教育は、次のとおりであった。

区 分	会 員	非 会 員	計	対前年比
新任警備員教育	6,338名	171名	6,509名	430名
現任警備員教育 (内出張教育)	5,904名 (776名)	95名 (0名)	5,999名 (776名)	53名 (93名)
計	12,242名	266名	12,508名	483名

※ 新任警備員教育は延べ人員である。

イ 職業訓練校としての新任警備員教育

平成3年4月に職業訓練校として認定を受けて以来訓練を実施しているが、平成24年度中に認定訓練校生として警備員教育を行った人員は、次のとおりであった。

新任警備員教育受講者 2,053名
(内訳) 施設警備業務 991名
雑踏警備業務 1,062名
(3日間修了者を1名として計上)

(2) 警備員指導教育責任者研修会

開催日 平成24年9月26日(水)
場 所 ナディアパークデザインセンタービル3階 デザインホール
参加者 指導教育責任者 519名
内 容 ・「特別講習の概要」
愛知県警備業協会 副会長 伊藤 桂 氏
・「立入検査結果からみた警備業務の問題点と対策」
愛知県警察本部生活安全総務課警備業係 係長 近藤 弘幸 氏

(3) 機械警備業務管理者研修会

開催日 平成24年11月27日(火)
場 所 愛知県警備業協会 4階 会議室
参加者 58名
内 容 ・「基地局からの指令要領」

セコム(株)中部本部コントロールセンター
センター副長 山田 桂 氏

・「迅速的確な指令業務について」「誤報の防止」

愛知県警察本部地域部通信指令課 課長補佐 伊藤 哲哉 氏

・「適正な機械警備業務の実施」

愛知県警察本部生活安全総務課警備業係 係長 大島 博史 氏

(4) 講師陣の強化充実

ア 講師体制の確立

当協会講師体制（平成25年4月1日現在）

- ・警備員指導教育責任者講習講師 51名
- ・特別講習講師 53名

イ 講師合同研修会の開催

各講習講師の知識、技能の向上と連絡協調を次のとおり図った。

(ア) 平成24年4月14日(土)、15日(日)の両日、当協会及びあいち自動車学校において、全国警備業協会から前島センター長以下6名の技術研究専門部員(技研講師)を招き、中部地区内特別講習講師富山県8名、石川県13名、福井県13名、岐阜県14名、三重県13名、愛知県36名の計103名が参加して中部地区講師合同研修会を開催した。

(イ) 平成24年12月4日(火)当協会警備員指導教育責任者講習講師、特別講習講師、教育センター講師及び警察本部生活安全総務課警備業担当者等78名が参加して合同研修会を開催した。

(5) 警備業に関する各種講習会への講師派遣

愛知県公安委員会及び(一社)警備員特別講習事業センターの委嘱を受けて実施した。

ア 警備員指導教育責任者等講習

新規取得、現任、追加及び機械管理者等 計22回
派遣講師 延201名

イ 特別講習

21回 派遣講師506名

ウ 公安委員会直接検定

2回 派遣講師 4名

5 警備業に関する功労者等に対する表彰

(1) 警察本部長・協会長連名表彰（平成24年6月20日表彰）

ア 功労団体

2団体（株式会社さつき警備保障、名西警備保障株式会社）

イ 功労者

3名（小塚喜城氏、加藤謹也氏、梅田重則氏）

ウ 教育関係等功労者

3名（森田 実氏、谷 尚己氏、筒井孝次氏）

(2) 警備員に対する表彰

ア 優良警備員（平成24年6月20日表彰）

116名

イ 特別功労警備員

犯人逮捕等に協力して、警備業務の信頼を高めた25名の警備員をその都度表彰した。

6 ホームページの運用、機関誌の発行その他広報啓発活動

(1) 機関誌等の発行

広報委員会において、協会及び業界の広報、会員の相互啓発を目的として、「セキュリティ・アイチ」を2回発行（38号（平成24年8月）、39号（平成25年1月））したほか、一般社団法人への移行及び警備業法施行40年を契機として新たに協会リーフレット「アイチ セキュリティ サービス」を作成し、全会員に配布したほか県下の報道各社等にも配布した。

また、会員に対する連絡事項を、その都度「愛警協だより」（計51回発行）で伝達した。

(2) ホームページの更新と広報

一般社団法人化に伴い協会ホームページの更新及び特別講習、指導教育責任者講習及び旧資格者講習の開催案内等を行った。

7 各種出版物等の購入斡旋

協会発行の「法令集」等56種2,202冊、「実務警備員教育」等ビデオ・DVD等118巻、その他事故防止用具等の斡旋をした。

8 関係行政機関等の行う地域安全、防災及び事故防止活動等に対する協力並びに支援活動

(1) 青色防犯パトロール活動

平成22年度より、県下の犯罪予防と地域住民の防犯意識の向上を図るため、活動地域内の管轄警察署との連携の下に犯罪多発地域をパトロール重点として、毎週土曜日に青色防犯パトロール事業を実施しているが、本年度も実施回数52回、車両運用延台数260台、車両走行距離26,874キロ、1日平均走行距離は約517キロの活動を展開し犯罪抑止に貢献した。

特に、今年度も県下のコンビニ強盗多発に伴い、県警地域安全対策課からは「警備業者のコンビニエンスストアへの立寄りに関する覚書」協定に基づく協力依頼を受け、コンビニ店舗への立寄り活動を積極的に実施し、その回数は全実施地域内で2,540回であった。

(2) 諸行事への参加協力

(社)愛知県防犯協会連合会及び(公財)暴力追放愛知県民会議の賛助会員として、地域安全県民大会、暴力追放セミナーに出席した。

また、愛知県安全なまちづくり推進協議会、愛知県万引防止対策協議会及び名古屋市中警察署の行う年末警戒活動に中支部会員警備員10名及び青年部会員19名とともに参加した。

(3) 暴力排除活動

警備業務の実施に際して暴力団との係わりを遮断するため、契約書面における暴力団排除条項の導入を促進した。

平成25年3月19日(火)、東京第一ホテル錦において、「愛知県警備業暴力団等反社会的勢力排除対策協議会」の定期総会を開催し、153社153名が参加し、平成24年度の事業報告と平成25年度事業計画案を採択した。

第2部では、「暴力追放セミナー」を開催し、県警担当官による講演「暴力団の現状と排除対策」を聴講し、暴力団排除活動の推進を図った。

9 地域防災計画等に基づく大規模災害発生時における協力及び支援活動

(1) 「平成24年度愛知県・豊田市総合防災訓練」に参加

平成24年9月2日(日)愛知県豊田市白浜町地内「白浜公園」及び八幡町地内「元城小学校」において、駿河湾から四国までを震源地とする大規模な地震を想定し、平成24年度愛知県・豊田市総合防災訓練に酒井副会長以下20名の三河支部会員の災害支援協力隊員が参加して、部隊編成、集合訓練、警察官と連携した緊急交通路確保訓練及び住民避難誘導訓練を実施した。

(2) 愛知県警察本部交通部主催による「災害時における交通規制訓練」に参加

平成24年8月31日(金)愛知県下の訓練道路4路線において、南海トラフを震源域とするプレート型巨大地震が突発的に発生したとの想定により、緊急交通路指定路線にある障害物等を除去し警察官が行う路線別交通規制訓練に対し、当協会各支部の災害支援協力隊員17社64名が参加し後方支援活動訓練を実施した。

(3) 「平成24年度中部管区広域緊急援助隊合同訓練」に参加

平成24年11月27日(火)愛知県豊橋市新西浜町地内の愛知県企業立地御津2区において、東海、東南海、南海地震の三連動による大規模地震が発生し、豊橋市では最大震度7を観測、津波による被害も発生したとの想定により、広域緊急援助隊交通部が行う緊急交通路の確保訓練に対し、三河支部会員の災害支援協力隊員2社8名が中部地区警備業協会連合会部隊として参加し、後方支援活動訓練を実施した。

(4) 災害支援協力隊の災害警備訓練

平成24年11月1日(木)、小牧市内の小牧勤労センターにおいて、愛知県警察本部長との「災害時における交通の確保等の業務に関する協定」等に基づき編成された愛知県警備業協会災害支援協力隊の第3回災害警備訓練を愛知県警察本部災害対策課及び生活安全総務課の協力を得て実施した。

この訓練には隊長以下210名が訓練に参加し、部隊の基本動作・誘導灯による交通誘導・毛布等及びAEDによる人命救助・三角巾の使用要領等を実施し、士気の向上と技能向上を図った。

(5) 警備員出動要請伝達訓練の実施

平成25年1月17日(木)愛知県東海市新日本製鉄㈱名古屋製鉄所沖を震源とする大規模な地震発生を想定し、愛知県警察生活安全総務課から出動要請訓練の協力を得て、遠距離間でも通話可能の高性能無線機及びFAXを使用して、災害対策本部・支部災害対策室の設置、警備員の派遣要請、派遣警察署の指定など協会独自計画による警備員出動要請伝達訓練を実施し、防災意識の高揚と伝達要領の習熟を

図った。

10 本会の目的を達成するために必要なその他の事業

(1) 一般社団法人移行後における公益目的支出実施事業の推進

平成24年4月1日付けで移行登記し「社団法人愛知県警備業協会」から「一般社団法人愛知県警備業協会」に移行後、公益目的支出計画の実施事業として、青色防犯パトロール事業・災害支援協力活動事業・教育事業（新任現任教育・特別講習）の3継続事業を推進した。

(2) 個人情報の適正な取扱い

認定個人情報保護団体として認定された全国警備業協会と連携し、個人情報の適正な取扱いを図った。

(3) 協会への加入促進と認定証更新案内の実施

ア 協会主催の各種研修会開催時、認定申請手続き相談時及び警備員法定教育委託相談等の機会に、協会へ加入するよう勧誘に努めた。

平成24年度中の会員入退会は、正会員の入会18社、正会員の退会10社であった。

イ 当協会からの「認定証の更新について（お知らせ）」ハガキをはじめ各支部において警察本部警備業担当官を招いての「認定証更新申請要領」等の研修会を開催した。

(4) 愛知県証紙及び諸用紙並びに警備業務用装備資器材等の販売あっせん

認定申請、その他各種申請・届出に必要な諸用紙を斡旋したほか、警備員指導教育責任者講習等の受講に必要な愛知県証紙を販売した。

(5) 中部地区各県警備業協会との連携

中部地区警備業協会連合会の会議を次のとおり開催したほか、中部地区警備業協会連合会事務局担当県として、各県協会及び全国警備業協会との連絡調整に努めた。

- ・春の会長等会議 平成24年 4月14日 愛知県
- ・秋の会長等会議 平成24年11月 6日 富山県
- ・中部地区事務局担当者会議 平成25年 2月21日 岐阜県

(6) 事務処理の向上

業務の増大に対応し会員サービスの向上を図るため、パソコン等OA機器を活用し、事務局の事務処理能力の向上に努めた。

(7) 慶弔・傷病に対する表意

会員等の葬儀告別式に生花、香典、弔電を供えた。

(8) 各種親睦行事の実施

会員相互の親睦を深めるため、新年交礼会及び会員懇親会等を開催した。